

LUMINE Sustainability Information

ルミネ立川 イベントレポート

日常に、ときめくひとときを

「Life is a Picnicな休日」で、立川をもっと好きになる



ルミネでは、地域の特性やお客さまに合わせたカルチャー、ライフスタイルを、街の人たちとともにつくっていくことを大切にしています。

2026年5月2日・3日、ルミネ立川では、描いて、創って、味わいながらアートなひとときを過ごせるイベント「Life is a Picnicな休日」を、屋上スカイガーデン「COTORIE」で開催しました。当日はルミネ立川のショップに加え、多摩エリアのショップも出店。親子で楽しみながら地域の魅力にふれられるイベントとなりました。



■「Life is a Picnicな休日」が生まれるまで

ルミネ立川は、地域密着型の取り組みとして『with立川』を運営しています。そこでは「立川をもっと知る、好きになる！」プロジェクトとして、立川やその周辺地域にお住まいの方などに向けて、地域の魅力を再発見していただく活動を続けてきました。近年は屋上スカイガーデン「COTORIE」で行った、定期的なイベント「あおぞらマルシェ」が大好評。そこで今回は、GWや母の日の時期に合わせて「Life is a Picnicな休日」を実施しました。

「Life is a Picnicな休日」のテーマは、今回コラボレーションをしたライフスタイルプロデューサーチーム「NEXTWEEKEND」を主宰する、株式会社ガルテンさまの世界観でもあります。物事の見方を少し変えることで、日常に埋もれた価値や楽しみを再発見する「ピクニック思考」をもとに、地域のクリエイターやショップと来場者の方に、新しい出会いを楽しんでいただくことを目指しました。



■株式会社ガルテンと描く、立川をもっと好きになる時間

コミュニケーションデザイン事業を通じて、さまざまな企画を手がける株式会社ガルテン。今回初めてルミネ立川のイベントにご協力いただき、お客さま視線を大切にしながら、立川の魅力を新しいかたちで届ける企画をともに考えました。

ガルテンスタッフは「『人生も、ピクニックみたいに自由に作って楽しめばいい』というLife is a Picnicの思考をもとに、自分らしく過ごせる時間をデザインする“アート”を楽しんでいただきたいと思います。立川はファミリー層も多く、母の日も翌週に控えていたこともあり、ご家族ではもちろん、大人も子どもも日常の役割を脱ぎ捨てて『好き』に向き合う時間を楽しんでいただけたら、と企画しました」と話します。「日頃からルミネ立川を利用される方から帰省中の方まで、遠出をしなくても、馴染みのある立川という街でもっと手軽に・欲張りに理想の休日を過ごしていただくことで、立川の街を好きになるきっかけを届けたいと思いました」と企画への想いを改めてお伝えいただきました。今後も街のパートナーとともに、お客さまが立川の新たな魅力を再発見し、日々の幸せを改めて感じられるような取り組みを広げてまいります。



■各店舗の背景と多摩エリアや来場者への想い

①<Local Collaboration Workshop>街のクリエイター限定ワークショップ

「はるのとなり」(ペイント&コラージュアート)

立川市富士見町にある石田倉庫のアトリエを、創造遊び場として開放されている「はるのとなり」。作家のtonoharunaさんは「自然があり、自分のペースで暮らせる」と立川の魅力を語ります。今回はペイント&コラージュアートのワークショップを開催し、お客さまに「心をほぐしながら遊ぶ」創作体験をお届けしました。



「kojika candle」(草花ペイント・キャンドル)

立川で生まれ育ったアーティスト「kojika candle」は、普段フローリストとして活動しながらキャンドルも制作。自然や文化がある立川の魅力に惹かれ、市内のマルシェやワークショップを中心に开店しています。今回は草花ペイント・キャンドルのワークショップを開催。「『つくるって楽しい』という気持ちや、自分の新たな好きを発見できる創作の楽しさを届けたい」と、参加者への想いを語りました。



②<LUMINE Creative Booth>ルミネ立川お馴染みのブランドが特別イベントを開催

「九州屋」

四季折々の旬を届ける青果専門店「九州屋」。今回は、お好みの果物を選んで楽しむフルーツバスケット作りを開催。ショップスタッフからは、「果物を『見て・触って・選ぶ』体験を楽しんでいただきたい。1,620円という特別価格には、日ごろのお客さまへの感謝の気持ちも込めています」とあたたかな想いを話していただきました。



「靴下屋」

ベーシックからトレンドまで多彩なレッグウェアを展開する「靴下屋」。靴下を作る際に余った端切れを使い、スマホストラップ作りのワークショップを開催しました。ショップスタッフは「普段はルミネ立川の店頭で商品を扱っていますが、今回のイベントで『靴下屋の新たな一面』を知っていただき、より靴下への愛着を持っていただけたらうれしい」と話します。



③<Locally Picnic Stand>多摩の魅力を集めたマルシェ

「Pontre Studio」(アートフラワー)

店主の地元・小平市にショップ兼アトリエを構え、すべて手づくりのインテリアを届ける「Pontre Studio」。自然豊かな小平を元気にしたいという思いから、地元の商店街にお店を開き活動されています。「ルミネ立川でのPOPUPは5回目。出店は長年の憧れであり目標だった」とルミネへの愛を語る店主。「リピーターのお客さまとの出会いも生まれている」と語ります。今回はアートフラワーのワークショップを開催し、見るたびにこの日を思い出せる作品を通じて、「おうち時間を大切に作るきっかけをお届けしたい」と話します。



「クリカ食堂」(ベーグル&スコーン)

東大和市にあるベーグルとスコーンのお店「クリカ食堂」。店主は立川も含む多摩エリアについて、「人のやさしさや、都心とのほどよい距離感に魅力を感じている」と語ります。昨年11月にルミネ立川へのPOPUP出店したご縁で、今回のマルシェへの参加が決まりました。「以前からNEXTWEEKENDのコンセプトに共感していたので、イベントで一緒できると知ってうれしかったです」と話し、「GWの青空の下、ベーグルやスコーンとともに、忙しい毎日の中でほっと一息つける時間を届けたい」と笑顔で話してくださいました。



■地域の魅力を届けるルミネ立川、街とともに新たな価値を生み出す拠点に

都心からのアクセスのよさに加え、豊かな自然や文化施設、商業施設がそろい、利便性と心地よさを兼ね備えた街・立川。昭和記念公園をはじめ、四季を感じられる緑も身近にあり、ショッピングやお食事だけでなく、エンタテインメントやカルチャーも楽しめます。さらに、地域に根づく人やコミュニティのあたたかさも、立川ならではの魅力です。

ルミネ立川は今後も、街のパートナーと共に、街の魅力を創出・発見・発信する拠点として、地域と連携した取り組みを広げていきます。

ルミネではサステナビリティ方針「WE ILLUMINATE THE FUTURE

わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」のもと、みんなと一緒に一歩ずつでも前に進んでいくためにルミネだからできることを考え、共に歩み続けます。

ルミネのサステナビリティ

<https://www.lumine.co.jp/sustainability/>

ルミネ立川

<https://www.lumine.ne.jp/tachikawa/>

WE ILLUMINATE
THE
FUTURE

わたしが選ぶ毎日が
わたしたちの未来を
つくっていく

